

小県上田教育会館



明治17年に小県上田教育会が組織されました。当初の事務局は、上田本校（現清明小学校）の一室に間借りをし、教育研究の集いや諸会議は、市内の学校や役所を転々と借用していました。

その後、昭和13年（1938）になって山浦政（やまうらただし・教育者・上小の古建築を研究）氏の設計により現在の小県上田教育会館が建てられました。建築様式は昭和4年に建てられた信州大学繊維学部講堂の三角出窓と同じセッション様式が取り入れられています。

昭和57年には、日本建築学会から昭和初期の代表的な建築様式を備えた貴重な建物として、全国約2000棟の中の一つにも選ばれました。

旧石井鶴三美術館



この建物は上田男子小学校同窓会により建てられ、当初から図書館として使用されました。大正12年(1923)に上田市に寄付され、やがて上田市立図書館として昭和45年(1970)まで利用されました。

ちょうどその頃、大正13年から昭和45年まで毎夏講師として上田小県管内での指導に当たった石井鶴三先生との縁から、石井鶴三美術館をぜひ開設をしたいと願っていました。

昭和60年、小県上田教育会は創立100周年にあたり記念事業として、この建物を上田市より借り受け美術館としました。しかし、平成20年、建物の耐震性など様々な問題が生じて、美術館の利用を継続することができなくなり、現在の小県上田教育会、会館内に移設し、石井鶴三美術資料室と改名しました。

現石井鶴三美術資料室



美術資料室正面

地域の鶴三先生作品



美術資料室展示品



小県上田教育会館では、創立100周年の記念事業として300点に上る先生の彫刻や素描、水彩画、油彩画、挿絵、版画など貴重な作品や資料を保存し、公開するとともに先生が立体芸術を通して示した「芸術教育の伝承と創造の場」として昭和60年7月に開館しました。鶴三芸術の幅の広さと奥の深さを一堂に集めてあるのが特徴です。

また、鶴三先生の関連の蔵書も同時に展示しています。

主な蔵書	石井鶴三全集全12巻	石井鶴三書簡集全3巻	石井鶴三随筆集
	石井鶴三文集全2巻	石井鶴三日記全5巻	石井鶴三素描集全3巻
	信濃教育(1044号)	石井鶴三先生追悼号	山精 石井鶴三資料集
	馬に夢を乗せて～石井鶴三の生涯～		石井鶴三版画集
	石井鶴三全集彫刻作品集	他	

石井鶴三の作品の一部は、

小県上田教育会館に展示されており、土日祝祭日を除く、平日の午前9時～午後4時まで見学ができます。

*** 入場無料です ***

